

# 青色および黄色T1 アラームのトラブルシューティング

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、青色と黄色の T1 アラームをトラブルシューティングする方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

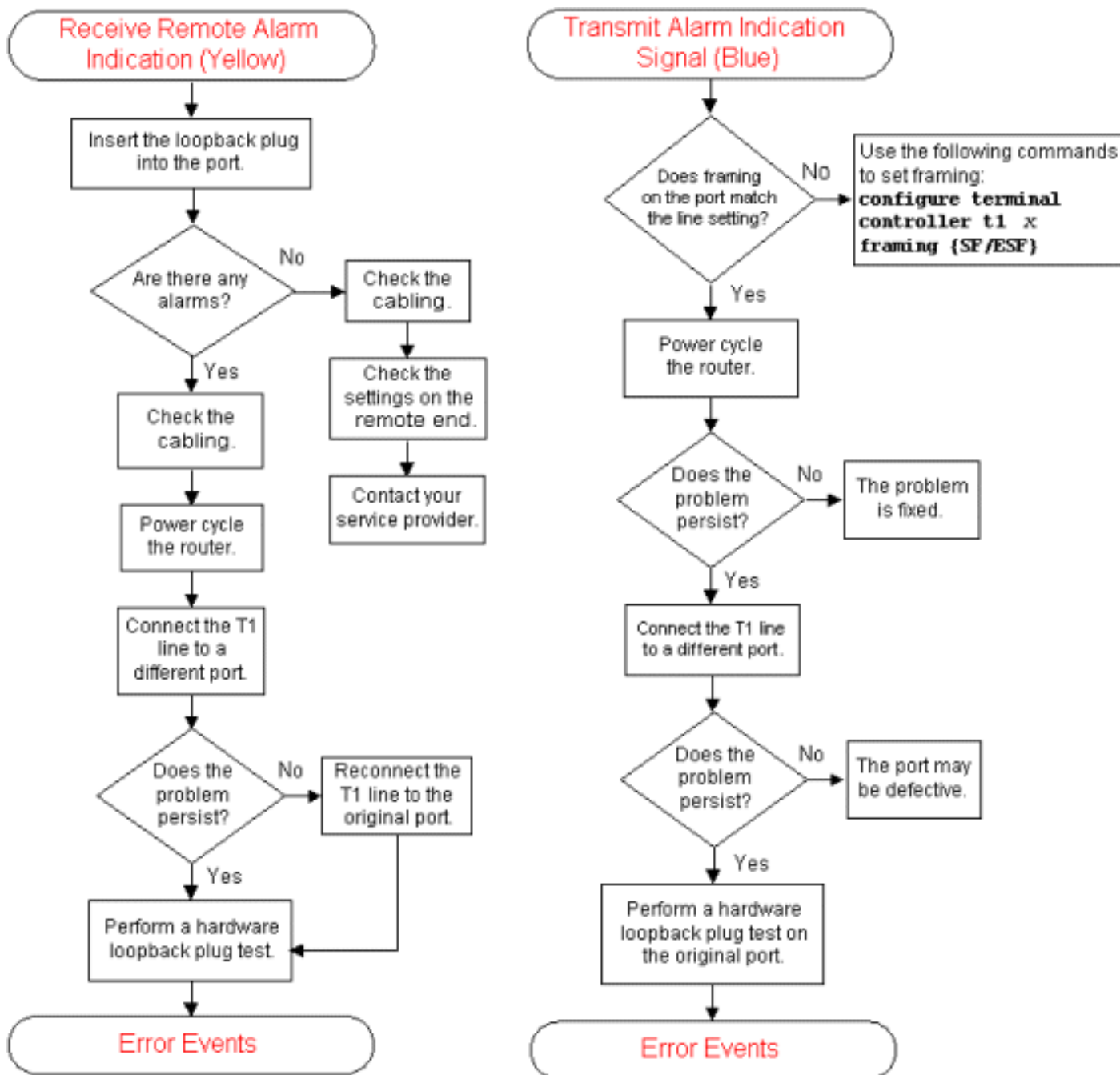
## 背景説明

[Receive Remote Alarm Indication (Yellow)]グラフの詳細については、図のコマンドボックスに対応する次のリンクをクリックしてください。

- ボックス「[Insert the loopback plug into the port links to the](#) Hard Plug Loopback Test.」
- 「T1アラームトラブルシューティングへのケーブル接続リンクをチェックする」ボックスをオンにします。
- ボックス「ルータの電源を再投入し、T1アラームのトラブルシューティングにリンクします」。
- ボックス「[T1回線を別のポートリンクに接続する](#)」T1アラームのトラブルシューティング
- ボックス「[ハードプラググループバックのテストを実行する](#)」リンクをハードプラググループバックテストに接続します。
- [エラーイベント]ボックスは、[\[T1 Error Event Troubleshooting\]](#)フローチャートにリンクしています。

[Transmit Alarm Indication Signal (Blue)]グラフの詳細については、図のコマンドボックスに対応する次のリンクをクリックしてください。

- ボックス[\[Configure terminal controller t1 x framing {SF/ESF} links to](#) T1 Alarm Troubleshooting]。
- 「T1を別のポートに接続する」ボックスは、[T1アラームトラブルシューティングへのリンク](#)です。
- ボックス[Perform a hardware loopback plug test on the original port links to the](#) Hard Plug Loopback Test.
- [エラーイベント]ボックスは、[\[T1 Error Event Troubleshooting\]](#)フローチャートにリンクしています。



## 関連情報

- [T1 アラームのトラブルシューティング](#)
- [Hard Plug のループバックテスト](#)
- [T1 エラー イベントのトラブルシューティングフローチャート](#)